



# しきん

令和6年 11月29日

京都市立第四錦林小学校

校長 森田 千佳

特別号



## 令和6年度 前期 学校評価まとめ

保護者の皆様には、第1回「学校評価アンケート」(7月実施)にご協力いただきありがとうございます。保護者の皆様、児童、教職員へのアンケートの結果と、保護者の皆様からいただいたご意見を振り返り、成果や課題を分析しました。成果や課題を全教職員が共有し、保護者・地域の皆様と共に連携を図りながら、今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。

### I. アンケート結果

設問	評価項目		とても そう思 う	そう思 う	あまり そう思 わない	そう思 わない
1	児	がっこうは たのしい。	55.2	37.3	6.5	1.0
	保	わが子は楽しく学校へ行っている。	43	51.7	4.7	0.6
	教	学校が楽しくなるよう工夫をしている。	31.6	68.4	0.0	0.0
2	児	がっこうのがくしゅうは よくわかる。	52.7	43.8	3.0	0.5
	保	わが子は学習内容を理解している。	22.7	66.9	10.5	0.0
	教	わかる(習得)→できる(活用)→生かす(探究)を目指した授業改善を図っている。	11.1	77.8	11.1	0.0
3	児	いろいろなせんせいが じゅぎょうしてくれるのは たのしい。	53.7	31.3	12.4	2.6
	保	わが子は担任や教科担任制の授業を楽しみにしている。	29.1	57.6	12.8	0.6
	教	教科担任制によって、授業改善が図れた。	11.1	72.2	16.7	0.0
4	児	じぶんから もんだいをみつけ、かいけつほうほうを かんがえている。	39.8	38.3	17.9	4.0
	保	わが子は自分から問題を見つけ、解決しようとしている。	11.0	59.9	28.5	0.6
	教	子どもは問題意識をもって主体的に学びが進められるよう指導している。	23.5	70.6	5.9	0.0
5	児	がくしゅうしたことを ともだちとはなしあったり ぶんにかいたり はっぴょうしたりしている。	45.3	38.8	15.4	0.5
	保	わが子は学習したことを自分で考えた方法で、自信をもって表現している。	15.7	58.7	25.0	0.6
	教	目的や場に応じた方法で、自信をもって表現できるよう指導している。	17.6	76.5	5.9	0.0
6	児	かていがくしゅう(しゅくだいなど)は じぶんからすすんで している。	58.7	27.4	10.4	3.5
	保	わが子は家庭学習(宿題など)を自分から進んでしている。	19.8	50.0	26.2	4.1
	教	家庭学習(宿題など)に主体的に取り組めるよう指導している。	35.3	52.9	11.8	0.0
7	児	ほんを すすんでよんでいる。	50.7	32.8	9.5	3.0
	保	わが子は、本を読む習慣がある。	26.2	30.2	32.0	11.6
	教	毎日読書に親しめる機会をつくっている。	11.8	58.8	23.5	5.9
8	児	GIGAたんまつを がくしゅうどうぐとして つかいこなしている。	60.7	32.8	5.0	1.5
	保	わが子はGIGA端末を学習道具として上手に使っている。	13.4	57.6	25.6	3.5
	教	子どもたちがGIGA端末を効果的に活用する学習活動を積極的に進めている。	22.2	66.7	11.1	0.0
9	児	じぶんには よいところがある。	54.7	32.8	9.5	3.0
	保	わが子のよさや頑張りを認め、ほめている。	23.3	66.3	10.5	0.0
	教	子どものよさや頑張りを認め、ほめる指導を行っている。	63.2	36.8	0.0	0.0

10	児	あいてのきもちをかんがえて はなしたり こうどうしたりしている。	45.8	42.8	10.9	0.5
	保	わが子は相手の気持ちを考えて行動している。	26.2	58.1	15.7	0.0
	教	相手の気持ちを考えて行動するよう指導している。	61.1	33.3	5.4	0.0
11	児	クラスには たすけあえる ともだちがいる。	73.6	19.4	6.5	0.5
	保	わが子には困った時に助け合える友だちがいる。	27.9	58.7	12.2	1.2
	教	仲間意識を高め、協力し合える学級づくりに取り組んでいる。	50.0	50.0	0.0	0.0
12	児	いろんなせんせいとはなしたりそุดんしたりしている。	40.3	38.3	18.4	3.0
	保	わが子は学級担当以外に、いろんな先生と話したり相談したりしている。	16.3	54.1	26.7	2.9
	教	担当学級だけでなく、チームで学年や全校の子どもと関わり、指導を進めている。	38.9	50.0	11.1	0.0
13	児	「しきんのやくそく」を まもっている。	44.8	44.3	9.0	2.0
	保	わが子は家庭の約束を守っている。	12.8	67.4	19.2	0.6
	教	「しきんのやくそく」を守るよう指導している。	47.1	47.1	5.9	0.0
14	児	じぶんから げんきにあいさつを している。	54.2	31.3	12.4	2.0
	保	わが子は家族や知り合いの人とあいさつをかわしている。	25.6	59.3	14.0	1.2
	教	子どもたちの見本となるよう笑顔であいさつをしている。	45.0	50.0	5.0	0.0
15	児	じぶんのもちものの せいりせいとんができている。	46.8	37.3	10.9	5.0
	保	わが子は身の回りの準備や後片付けができている。	8.7	45.3	38.4	7.6
	教	整理整頓された教室環境に努めている。	31.6	63.2	5.3	0.0
16	児	たのしくあそんだり うんどうしたり している。	69.7	23.9	4.0	2.5
	保	わが子は楽しく遊んだり運動したりしている。	52.3	43.6	4.1	0.0
	教	楽しく遊んだり運動したりできる機会をつくっている。	23.5	64.7	11.8	0.0
17	児	しせいをただしくして がくしゅうしている。	34.3	42.3	20.4	3.0
	保	わが子は食事や学習をしている時、姿勢を正しくしている。	5.8	35.5	50.0	8.7
	教	子どもたちが姿勢を正しくできるよう指導している。	17.6	58.8	23.5	0.0
18	児	てあらい・うがい・はみがきはいつもしている。	51.7	37.8	8.0	2.5
	保	わが子は手洗い・うがい・歯磨きの習慣がついている。	21.5	60.5	16.9	1.2
	教	手洗い・うがい・歯磨きの定着に努めている。	31.3	68.8	9.5	0.0
19	児	はやね・はやおきをし、あさごはんをたべている。	53.7	30.3	11.4	4.5
	保	わが子は早寝・早起き・朝ごはんの習慣ができている。	27.3	50.0	19.8	2.9
	教	早寝・早起き・朝ごはんの大切さを指導している。	29.4	64.7	5.9	0.0
20	児	きゅうしょくは、すききらいせず たべている。	57.2	27.9	10.5	4.5
	保	わが子は好き嫌いせず食べている。	22.7	46.5	23.3	7.6
	教	給食を残さず食べるよう取り組んでいる。	52.9	47.1	0.0	0.0

## 2. めざす子ども像から見た考察

自ら学ぶ子

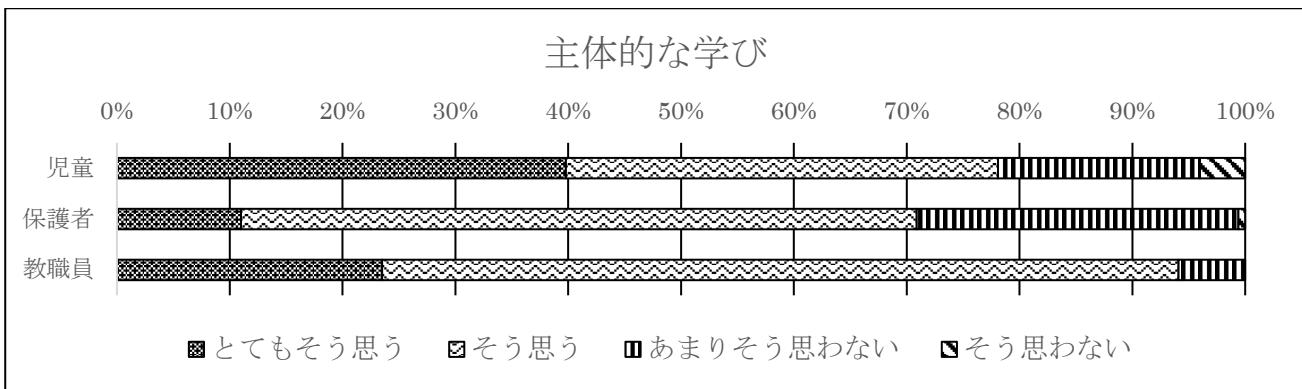
◆【設問4】自分から問題を見つけ解決方法を考えている。)

「主体性」と「エージェンシー」に関する項目です。この設問において、『(あまり)そう思わない』と回答した児童が20%、保護者においても30%の回答がありました。本校の児童は、与えられた問題については、真面目に最後まで取り組むことができる一方で、自分から主体的に問題を見つけ出すことに難しさを感じている様子が見られます。主体性を育むために、「子どもを主語にした学び」の転換を意識し、子どもが自ら学びとる学習展開を中心とした授業改善を今後も取り組んでいきたいと思います。

エージェンシー  
(子ども主体の学び)

心理的安全性  
(失敗できる環境)

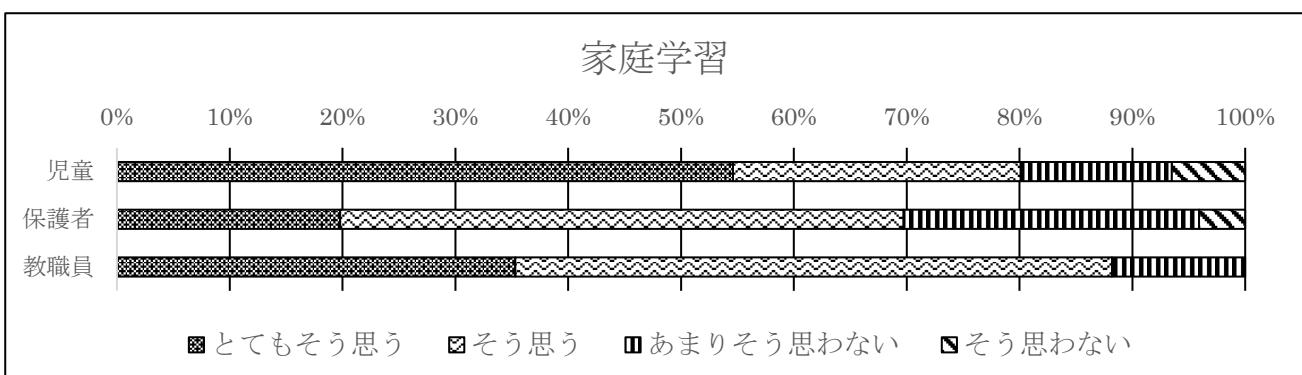
みんなが笑顔  
(持続的で魅力ある学校)



◆ 【設問6 家庭学習は 自分からすすんでしている。】

本校において家庭学習については、基礎的な知識・技能を定着させるために最低限の課題量を示し、学習習慣を確立できるようにして、学年が進むごとに、宿題の量や方法を自己調整できる範囲を増やすことで、個別最適な学びを目指しています。回答の結果から、まだまだ児童自身が、自ら目標や計画を立てて家庭学習に取りくむことができず、家庭学習の意義が見いだせずにいるのではないかと考えています。

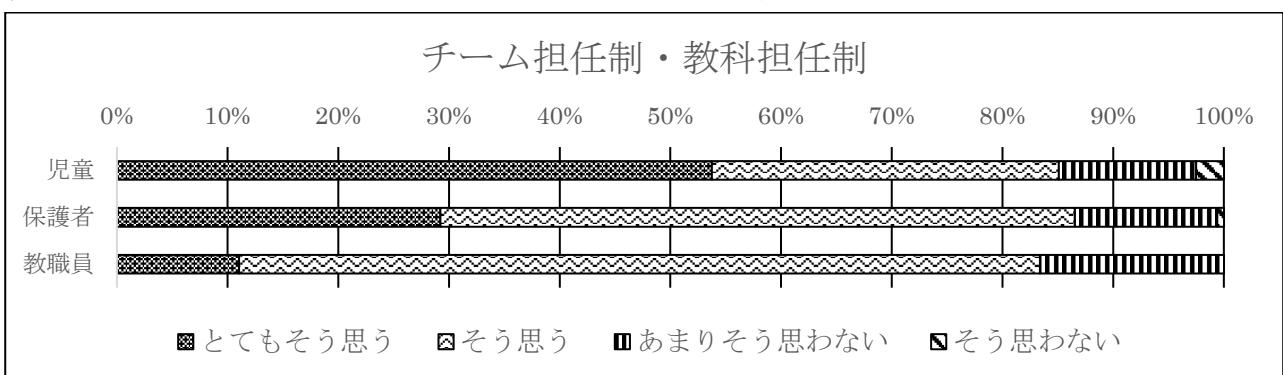
指導者は、漢字や計算の定着の達成目標と時期を示し、見通しをもって計画を立て、家庭学習に取り組めるように、内容や方法について児童とともに考えていきたいと思います。



**やさしい子**

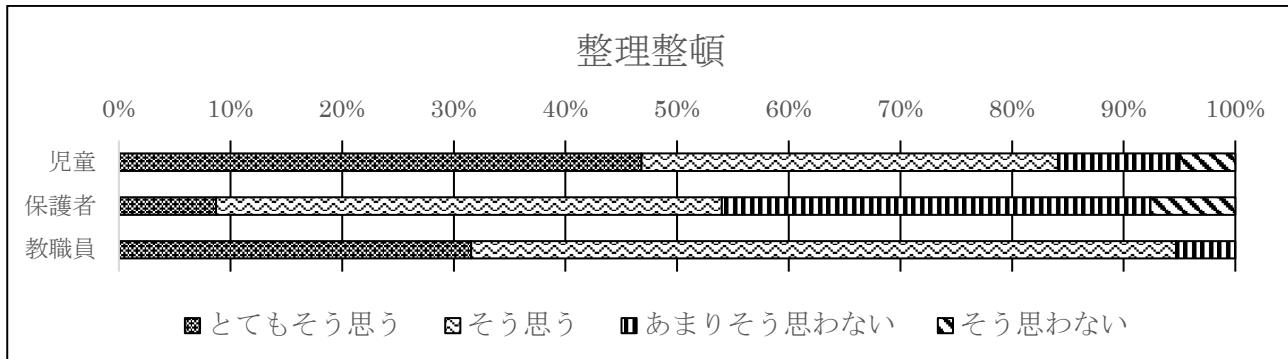
◆ 【設問12 いろいろな先生と話したり相談したりしている。】

今年度から、4～6年生において本格的にチーム担任制を導入し、複数の教員の児童を見守り、学級担当の先生以外の先生にも気軽に相談できる体制を構築できるように取り組んでいます。まだまだ児童からすると、なれない部分もあると思いますので、今後さらに、チーム担任制について児童が理解を深めてくれるように働きかけていきたいと思います。また、普段の児童の様子を、教職員同士が緊密に連携・共有を図ることで、児童の困りや悩みのサインを見逃すことなく対応していくよう努力していきます。



◆【設問 15 自分の持ち物の整理整頓ができている。】

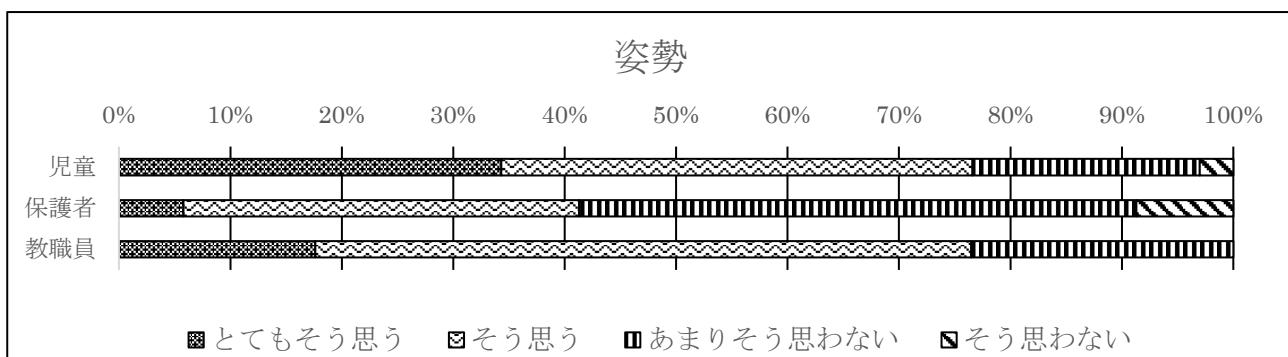
「整理整頓」については、物を大切にするということ、学習準備をきちんと整えることなど「自ら律する力」を育てるにつながります。学校においては、教室環境や学習環境を整えることで指導者自らが模範となれるようにしていきたいと思います。各家庭においても、お声かけをお願いします。



元気な子

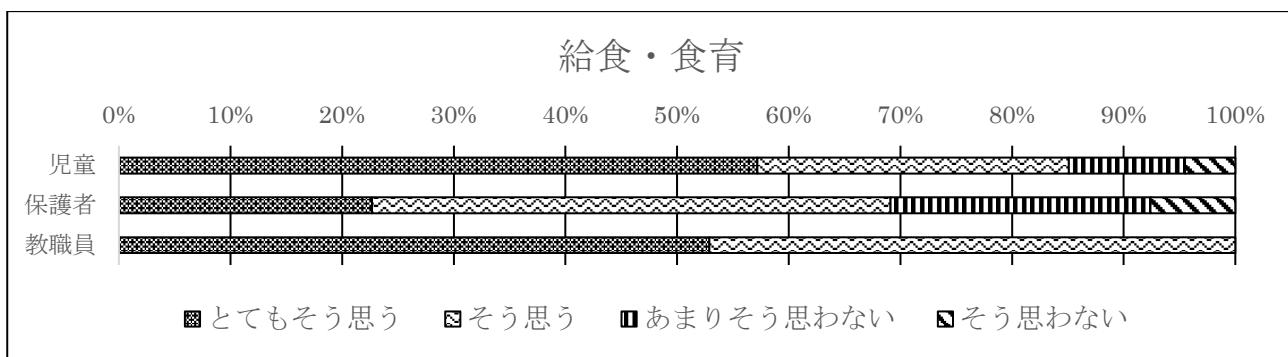
◆【設問 17 姿勢を正しくして学習している。】

正しい姿勢がとれることは健やかな成長につながる大切な資質・能力であり、学びに向かう意欲や態度とも関連します。学校では、身体測定など検診や体育科の保健学習などを中心に引き続き指導していきますので、各家庭において、意識してお声かけいただければと思います。



◆【設問 20 給食は、好き嫌いせず 食べている。】

栄養教諭や給食主任を中心に、給食を生きた教材として活用し、食に関する指導の推進を進めています。様々な食材にふれる中で、児童が望ましい食習慣を育むとともに心と身体の健康のために、何をどのように食べればよいかを選ぶ力（食選力）をつけていきたいと思います。



今回の結果を真摯に受け止め、教職員全員で改善を図ってまいります。今後も保護者の皆様、地域の皆様には、温かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。